

タイトル…『ファニーたい焼きトム43  
おからの煮物』

## 第一幕：奇抜な挑戦

### 場面1：たい焼きトムの朝

トム「グッモーニン！今日もファニーな  
たい焼きを作るぞ！エキサイティングな  
朝の始まりだ！」

魚住「また新しいの考えたんですか？今  
度はどんな…？」

トム「イエス！ジャパニーズヘルシーフ  
ード、『おからの煮物』たい焼きだ！健  
康と革命の融合、これはもう天才の所  
業！」

魚住「おから…の煮物？おからだけじ  
ゃなくて煮物？なんで？」

トム「ヘルシー！プロテイン！ワンダフル！大豆の恵みを詰め込んだ、しっとりホクホクな和の味！伝統と革新のミラクルコンボ！」

魚住「はあ……もう止めても無駄ですね。とりあえず作りましょうか。」

## 第二幕：おからたい焼き爆誕

### 場面2：試作と試食

トム「よし、ホットなたい焼きにクールな和食のハーモニー！この組み合わせは人類未踏の領域だ！」

魚住「甘いんですか？しょっぱいんですか？」

トム「それがミステリー！口に入れた瞬間、優しいダシの香りが広がり、ほろほろ崩れるおから！それを包むのはパリッと香ばしいたい焼きの皮！この相反する

食感のハーモニーこそ、新たなたい焼きの革命だ！」

魚住「……甘じょっぱい……いや、なんか……豆腐？」

トム「ノーノー！これは革命だ！これぞヘルシー&デリシヤス！」

### 第三幕：お客の反応

#### 場面3：初日販売開始

常連客△「おからの煮物！？変わってるなあ……。」

新規客B「ちよつと気になる。でも、たい焼きの中身としてアリなの？」

客C「……えっ？あれ？意外と美味しい？」

客D「なんか優しい味がする……でも甘くない？」

客「ほわっほわのおからに、じんわり染み込んだダシの旨み！そして皮のサクサク感が絶妙に絡み合う……！」

子供「これ、おばあちゃんの味みたい！」

老夫婦「懐かしい味ね……。」

批判的な客「たい焼きは甘くないと！」

トム「だからフアニーなんだ！」

## 第四幕：逆転の評判

### 場面4：涙の味

（やつれた会社員が店の前をフラフラと歩いてくる。目の下にはクマ、シャツはシワシワ、ネクタイは緩んでいる。背中丸まり、靴のかかとはすり減っている。）

やつれた会社員「はぁ……腹減った……  
今日も残業……昨日の夕飯もカップ麺だ

ったな……。なんのために働いてるんだ  
ろう……。」

（店の前を通りかかった瞬間、たい焼き  
の香ばしい匂いが鼻をくすぐる。思わず  
足を止める。）

やつれた会社員「ん……。？この香り……。  
なんだろう……。懐かしい……。」

トム「ハロー！今日のスペシャルたい焼  
き、『おからの煮物』だよ！トライして  
みる？」

（やつれた会社員は半信半疑でたい焼き  
を受け取る。一口かじる。）

やつれた会社員「……。っ！？」

（目を見開き、驚いたようにたい焼きを  
見つめる。そして、もう一口、ゆっくり  
と噛みしめる。）

やつれた会社員「……ほろほろと口の中  
でほどけるおから……ダシの優しい甘  
さ……ちよつと甘辛い味付けが……ああ、  
これは……！」

（目に涙を浮かべ、震えながら言う。）

やつれた会社員「田舎の母ちゃんの料理  
を思い出す……っ！」（ぽろぽろ涙をこ  
ぼす）

（その場にしゃがみこみ、たい焼きを両  
手で抱え、すすり泣く。）

やつれた会社員「いつぶりだろう……こ  
んなに優しい味を食べたのは……。母ち  
ゃんが昔作ってくれた……。俺が東京に  
出る前の最後の晩飯も、おからの煮物だ  
った……！」

（涙をポタポタとたい焼きに落としながら  
ら、静かに嗚咽する。）

魚住「な、なんで泣いてるんですか……？」

トム「おお、泣くほど感動したか！」

### 第五幕：成功と次なる挑戦

#### 場面5：思い出の味、大行列

（翌日、店の前には長蛇の列。中年男女が続々と訪れている。開店前から大行列ができ、道まで人が溢れている。）

中年女性▶「この味……子供の頃におばあちゃんが作ってくれた煮物の味とそっくり……！」（涙を拭う）

中年男性♫「俺も……こんな優しい味、久しぶりだ……。」

（次々とお客がたい焼きを頬張り、涙をこぼす。）

中年男性○「……っ、くそっ、なんでこんな  
に沁みるんだよ……！」（泣きながら  
食べる）

中年女性㊦「お母さんの味だ……もう二  
度と食べられないと思ってた……。」「（た  
い焼きを抱きしめるようにしてすすり泣  
く）

（次第に号泣する客が増え、店の前が嗚  
咽で満たされる。）

初老の男性「こんな……うまい……うます  
ぎる……！」（地面に崩れ落ち、たい焼  
きを両手で抱え、声を上げて泣く）

中年女性㊦「おばあちゃん……私、おば  
あちゃんに会いたいよおおお！」

（感極まった客同士が抱き合い、慰め合  
う。）



若い男性「こんなに泣かせるたい焼きがあつていいのか……っ！！」（大粒の涙をポロポロこぼしながらたい焼きを頬張る）

（さらに奥から「田舎に帰りたい！！」「仕事辞める！！」「お母さんに電話する！！」といった叫びが聞こえる。）

（通行人が異様な光景に驚いて足を止める。）

通行人▶「何この店！？なんでみんな泣いてるの！？」

通行人☹「わからん……でも、泣いてる人が多すぎて逆に気になる……。」

魚住「店の前が泣いてるお客さんばかりで困る！！」

トム「心に沁みたい焼きだね！」

魚住「もうやめてくださいよ!!!」

(観客爆笑、エンドロールへ。)

## 尺割 (仮)

1.

### 第一幕：奇抜な挑戦 (約15分)

2.

1. トムの新作「おからの煮物たい焼

き」開発

2. 魚住の困惑とツツコミ

3. 最初の客たちの微妙な反応

3.

### 第二幕：試行錯誤と不安 (約15分)

4.

1. 試食イベントの開催

2. 予想以上の不評

3. トムの落ち込みと魚住の奮闘

5.

**第三幕：意外な反応（約15分）**

6.

1. 徐々に広がる噂

2. 一部の年配客にウケ始める

3. トム「これは……ファニーかもしれない！」

7.

**第四幕：逆転の評判（約20分）★**

強化部分

8.

1. やつれた会社員の登場

2. 背景描写（過酷な労働・孤独な食生活）

3. たい焼きを食べた瞬間の感動

4. 涙ながらに「田舎の母ちゃんの味  
……！」

5. その場に泣き崩れ、店内の雰囲気  
が一変

6. 他の客の共感と拡散

9.

**第五幕：思い出の味、大行列（約25  
分）★強化部分**

10.

1. 長蛇の列、大混乱の展開

2. 中年男女が懐かしさで号泣

3. 「母ちゃんに会いたい！」と嗚咽

4. 「仕事辞める！」などの衝撃発言

続出

5. 店の前が泣きの聖地と化する

6. 魚住の悲鳴「泣く客ばかりで営

業できない！」

トムの満足げなセリフ「心に沁み

るたい焼きだね！」